

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 5月12日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 小林 裕 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 5月27日 午前 9時00分から 令和 8年 6月 3日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 6月 9日 午前10時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 6月24日 午前11時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部民事第4部
特別売却 実施期間	令和 8年 6月10日 午前10時00分から 令和 8年 6月12日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 5月12日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 1 所 在 青梅市長淵二丁目
地 番 681番4
地 目 宅地
地 積 253.00平方メートル
- 2 所 在 青梅市長淵二丁目681番地4
家屋 番号 681番4の1
種 類 居宅
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 55.45平方メートル
(附属建物)
符 号 1
種 類 物置
構 造 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 24.84平方メートル
2階 22.35平方メートル
(現況)
床 面 積 1階 24.84平方メートル
2階 約21平方メートル



物件明細書

令和 8年 3月18日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 蘆 澤 里英子

-
- 1 不動産の表示
【物件番号1, 2】
別紙物件目録記載のとおり

 - 2 売却により成立する法定地上権の概要
なし

 - 3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1, 2】
なし

 - 4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号2】
本件所有者が占有している。

 - 5 その他買受けの参考となる事項
なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも掲載されています。



物 件 目 録

- 1 所 在 青梅市長淵二丁目
地 番 681番4
地 目 宅地
地 積 253.00平方メートル
- 2 所 在 青梅市長淵二丁目681番地4
家屋 番号 681番4の1
種 類 居宅
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 55.45平方メートル
(附属建物)
符 号 1
種 類 物置
構 造 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 24.84平方メートル
2階 22.35平方メートル
(現況)
床 面 積 1階 24.84平方メートル
2階 約21平方メートル



令和7年(ケ)第272号
令和7年12月23日受理
令和8年2月16日提出
(評価人:山崎俊治)

現況調査報告書

東京地方裁判所立川支部
執行官 佐治 憲彦

物 件 目 録

- 1 所 在 青梅市長淵二丁目
地 番 681番4
地 目 宅地
地 積 253.00平方メートル
- 2 所 在 青梅市長淵二丁目681番地4
家屋 番号 681番4の1
種 類 居宅
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 55.45平方メートル
(附属建物)
符 号 1
種 類 物置
構 造 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 24.84平方メートル
2階 22.35平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	東京都青梅市長淵二丁目681番地4 (住居表示未実施)
土地	物件1
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)
その他の事項	
建物	物件2
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点異なる(<input type="checkbox"/> 主たる建物 <input checked="" type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input checked="" type="checkbox"/> 床面積: 2階 約21㎡
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある — 種類: 構造: 床面積:
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

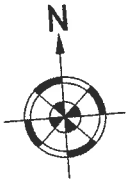
執行官の意見

- 1 本物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件建物の占有状況については看板、郵便物の存在及び現場の使用状況から2枚目のとおり報告する。
以 上

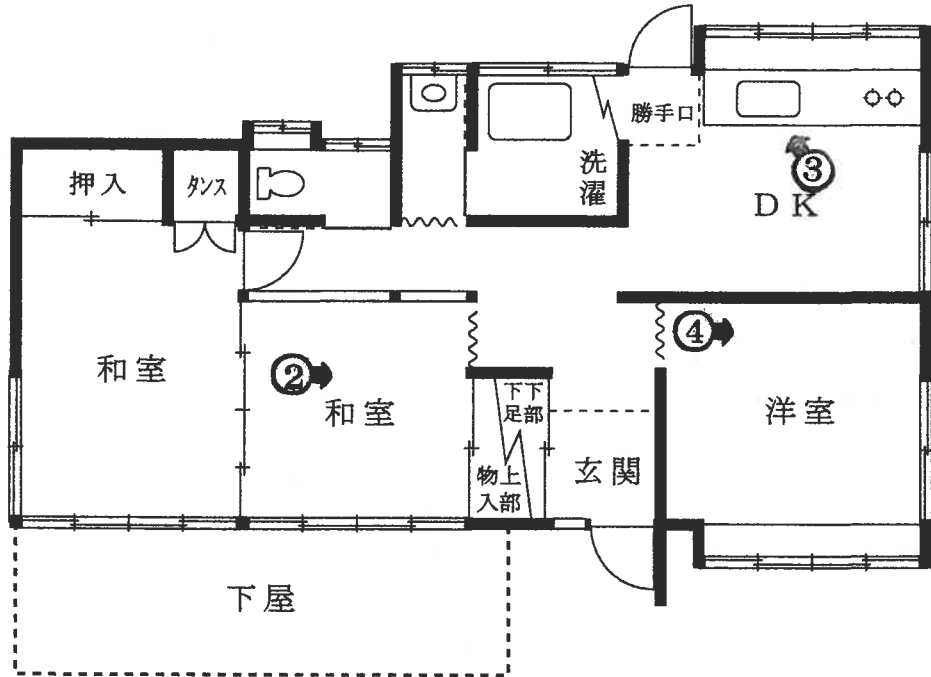
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年1月6日 9:10-9:29	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 物件確認 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 外観写真撮影 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> 図面作成 <input type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 居住者に対し、臨場日時通知書差置
令和8年1月30日 10:40-11:10	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 立入調査 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 図面作成 <input checked="" type="checkbox"/> 評価人同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 <input checked="" type="checkbox"/> 令和8年1月30日 目的物件は不在であったので、立会人 A を立ち会わせて建物内に立ち入った。 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 <input checked="" type="checkbox"/> 写真6枚添付		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



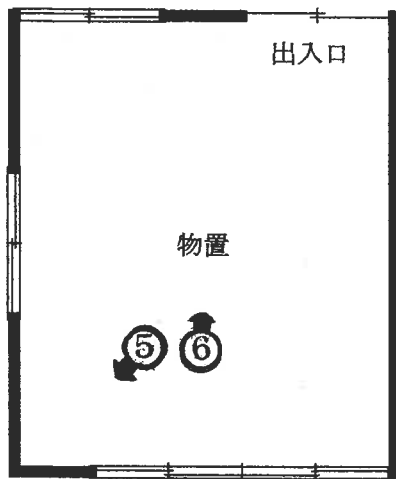


物件(2)の建物

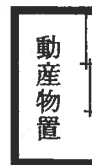
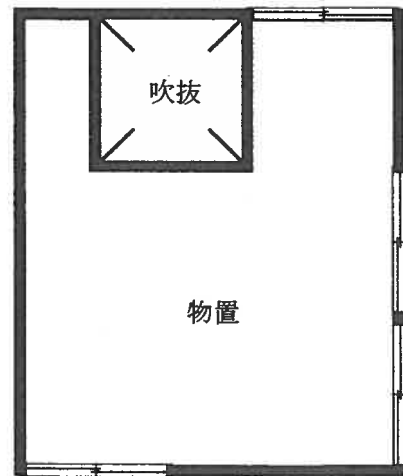


附属建物

1階



2階 現況約21m²



←○: 写真撮影位置と方向

1



2



3



(7 枚目)

4



5



6



(8 枚目)

令和7年（ケ）第272号
令和8年1月30日 現地調査
令和8年2月25日 評 価

東京地方裁判所立川支部
民事第4部不動産執行係 御中

評 価 書

評 価 人 山 崎 俊 治

第1 評価額

一括価格	
金 8,170,000 円	
内訳価格	
物件1 (土地)	金 3,220,000 円
物件2 (建物)	金 4,950,000 円

- 1 一括価格は、物件1及び物件2の各不動産について、一括売却（民事執行法第61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は、物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法第58条第4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	次頁物件目録記載のとおり		同左
2	次頁物件目録記載のとおり		(附属建物) 床面積：1階 24.84㎡ 2階 約21㎡
番号	特記事項		
	特になし		

物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 青梅市長淵二丁目 |
| | 地 番 | 681番4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 253.00平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青梅市長淵二丁目681番地4 |
| | 家屋 番号 | 681番4の1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| | 床 面 積 | 55.45平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 24.84平方メートル
2階 22.35平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	J R青梅線「東青梅」駅の南方道路距離約1.8km(徒歩約23分)、J R青梅線「河辺」駅、「小作」駅方面行きの最寄バス停から徒歩約3～4分に位置する。(附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	近隣は、青梅市の南東部、吉野街道(国道411号)の南側背後に位置する郊外部住宅地域である。南方に長淵丘陵を望む山麓において、戸建住宅が建ち並ぶ他、周囲には農地、緑地も残る住宅地域が形成されている。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 60% 150% 準防火地域 12m第2種高度地区 日影規制(一) 宅地造成等工事規制区域 青梅市の美しい風景を育む条例(一般地区) 東京都景観条例(丘陵地景観基本軸)
画地の状況	地積形状 間口・奥行 地勢 その他	253.00㎡ 略長方形 南西側間口18m、奥行約13m 北西側間口約13m、奥行約18～19m 本件土地は概ね平坦であるが、南西側市道より約0～2m低く、南東側隣地(677番1土地)より約2～3m低い。なお、南東側隣地との間には高低差と概ね同じ高さのRC擁壁が存する。 法務局備付の地積測量図(昭和46年3月作製)が存する。
接面道路の状況等	南西側が幅員約4.5mの舗装市道(建築基準法第42条1項1号に該当)に約0～2m低く接面し、北西側が幅員約3～4mの舗装市道(建築基準法第42条2項に該当)にほぼ等高に接面する角地である。なお、北西側の赤道の幅員は約2.8mであり、さらに北西側が河川であることから、東京都多摩建築指導事務所建築指導第三課に確認したところ、建築基準法第42条2項に伴う道路後退に関しては片側(本件土地側)後退になる可能性が高いが、詳細は現地調査等を実施してみないとはっきりしたことは分からないとのこと。	
土地の利用状況等	物件1土地は、物件2建物の敷地として利用されている。 なお、物件1土地と北側隣地(681番2土地、所有者は物件1土地と同じ)とに跨って、建物に該当しない簡易な工作物が存するため、留意を要する。 (建物の配置は附属資料「建物図面・各階平面図写」参照)	

供給処理施設 (基本的には敷地 内への引き込みの 有無を基準として いる)	上水道	有り
	都市ガス	無し (都市ガスの供給エリア外)
	下水道	無し ※
	<p>※ 本件土地と同一所有者名義の北側隣地 (681番2土地) への引き込み管は存するものの、本件土地への引き込み管は確認出来なかった。青梅市下水道課で確認したところ、本件土地の南東側及び北西側市道に下水道の本管が埋設されているものの、その大部分が引き込み管の取り付けが困難な鋼管で覆われているため、本件土地への引き込み管の取り付け可能部分が限定される状況にあるとのこと。詳細は青梅市下水道課への確認を要する。</p>	
土地の履歴等	<p>昭和31年頃の空中写真によると一帯は農地の広がる中に農家住宅の存する地域であった模様である。本件土地については、本件建物が建築されてからは戸建住宅の敷地として現在まで利用されてきているものとみられる。</p>	
特記事項	<p>① 南東側隣地 (677番1土地) との間に高さ約2~3mのRC擁壁が存するものの、当該擁壁についての都市計画法、旧宅地造成等規制法、建築基準法上の検査済証の確認はできなかったため、その構造上の安全性、耐震性については不明である。本件土地における建物の建替えに際しては、東京都建築安全条例第6条 (がけ条例) による制限を受けるため、留意が必要である。詳細については東京都多摩建築指導事務所建築指導第三課に相談を要する。</p> <p>② 青梅市民防災マップ (2025年版) で確認したところ、本件土地は該当しないものの、本件土地の近隣が、土石流や急傾斜地の崩壊の危険があるとされる土砂災害警戒区域 (通称イエローゾーン) に該当しており、留意が必要である。なお、青梅市防災課で確認したところ、近隣において令和元年10月の台風19号による冠水被害があった履歴が残っているとのこと (履歴が残っている平成10年以降の記録による)。</p> <p>③ 住宅地図によると北東方約40mの距離に墓地が存する。</p>	

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物	
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 (登 記 記 載) 経 過 年 数 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	昭和46年7月31日新築 約55年 経済的耐用年数は既に満了しているものと判断。
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造平家建 亜鉛メッキ鋼板葺 サイディング等 クロス貼、塗壁等 クロス貼、板張等 フローリング、畳等 水廻り(台所、洗面所、浴室、トイレ)等 —
現 況 床 面 積	55.45 m ²	
現 況 用 途 等	現 況 用 途 間 取 り	居 宅 (3DK) DK、洋室、和室2、洗面所、浴室、トイレ等
品 等	中 位	
保守管理の状況	やや劣る	
建物の利用状況等	現況調査報告書のとおりである。 ◇ 占有減価の要因はない。	
特 記 事 項	① 新築時の建築確認済証の交付記録(昭和46年3月31日)はあるが、検査済証の交付記録は見当たらなかった。 ② 床は体重をかけると沈む箇所が認められた。築年数の相当経過した古い建物であり、経年に伴う汚れ、劣化、摩耗、損傷、機能的陳腐化が認められる状況であり、既に経済的耐用年数は満了しているものと判断される。	

区 分	附属建物	
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	平成2年10月1日新築 約35年 経済的耐用年数は既に満了しているものと判断。
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 そ の 他	軽量鉄骨造2階建 亜鉛メッキ鋼板ぶき サイディング等 ボード等 ボード等 ボード等 —
現 況 床 面 積	1階： 24.84 m ² 2階：約 21 m ² 延 約 45.84 m ² ※ 2階の面積は概測によるものであり、正確には専門家による測量を要する。	
現 況 用 途 等	物 置	
品 等	中位の下	
保守管理の状況	普 通	
建物の利用状況等	主である建物の物置として利用されている。 ◇ 占有減価の要因はない。	
特 記 事 項	① 建築確認申請の記録は見当たらなかった。法適合性及び構造上・耐震上の安全性等については不明であり、専門家による調査・診断等を実施しなければ分からない。 ② 2階の床面積及び形状が登記とやや異なる。詳細は現況調査報告書の「建物間取図」を参照。 ③ 2階への階段が存せず、現況は金属製の簡易な梯子がかけられているだけである。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1 (土地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) オ＝ア×イ×ウ×エ
	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別格差 イ			
1	60,700	× 0.91	× 253.00	× 0.80	= 11,180,000

※総額(円)については、1万円未満四捨五入とした(以下同じ)。

ア 標準画地価格 : 下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は、近隣において土地の概況(間口、奥行、規模等)及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【地価公示地 青梅-17】

$$\begin{array}{cccccc}
 \text{(公示価格)} & & \text{(時点修正)} & & \text{(標準化補正)} & & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 67,400\text{円/m}^2 & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{111} & = & 60,700\text{円/m}^2 \\
 & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時点修正 : 令和7年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正 : 必要なし。

地域格差 : 地価公示地の所在地域と対象不動産の所在地域を比較して、交通接近条件、街路条件、環境条件、行政的条件等を総合的に考量して判定した。

イ 個別格差 : 下記の個別的要因を考慮して個別格差率を以下のとおり査定した。

- ・方位(南西) ----- + 4 %
- ・角地 ----- + 3 %
- ・規模過大 ----- - 5 %
- ・要セットバック ----- - 6 %
- ・地勢 ----- - 5 % (接面道路、隣地との高低差等を考慮)

$$\begin{array}{l}
 \text{相乗積} : 1.04 \times 1.03 \times 0.95 \times 0.94 \times 0.95 = 0.91 \\
 \text{(小数第3位を四捨五入)}
 \end{array}$$

ウ 地 積 : 登記数量による。

エ 建付減価 : 敷地と建物との関連性等を考慮し、▲20%と判断した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、次のとおり建物価格を求めた。

物件番号 2	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延床面積 (m ²) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) エ＝ア×イ×ウ
主である建物	210,000	× 55.45	× 0.01	= 120,000
附属建物	100,000	× 約45.84	× 0.01	= 50,000
合計				170,000

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：主である建物は登記数量、附属建物は概測現況床面積による。

ウ 現 価 率：建物の現価率を下記のとおり判定した。

〔主である建物〕

対象建物は新築時から約55年経過した木造の戸建住宅であり、建物の現況及び保守管理の状況等を考慮した結果、既に経済的耐用年数は満了しているものと判断した。よって、建物の現価率を残価率相当の1%と判定した。

残価率	1%
経過年数	約55年
経済的残存耐用年数	—
観察減価率	—

〔附属建物〕

対象建物は新築時から約35年経過した物置であるが、建物の現況及び保守管理の状況等を考慮した結果、既に経済的耐用年数は満了しているものと判断した。よって、建物の現価率を残価率相当の1%と判定した。

残価率	1%
経過年数	約35年
経済的残存耐用年数	—
観察減価率	—

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ウ=ア×イ
1	11,180,000	× 0.60	法定地上権	= 6,710,000

ア 建付地価格：前記1 ① オ

イ 土地利用権等割合：売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格(円) ア	土地利用権等価格の控除及び加算(円) イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額(円) カ= (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	11,180,000	- 6,710,000		× 0.9	× 0.8	= 3,220,000
2	170,000	+ 6,710,000	× 1.0	× 0.9	× 0.8	= 4,950,000
一括価格(合計)						8,170,000

ア 基礎となる価格：前記1

イ 土地利用権等価格：上記2 ① ウ

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：需要の低調な郊外部の物件であることを考慮するに、▲10%の市場性修正を要すると判定した。

オ 競売市場修正：「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

第6 参考価格資料

【 指標とした公示価格等 】

地価公示地「青梅－17」

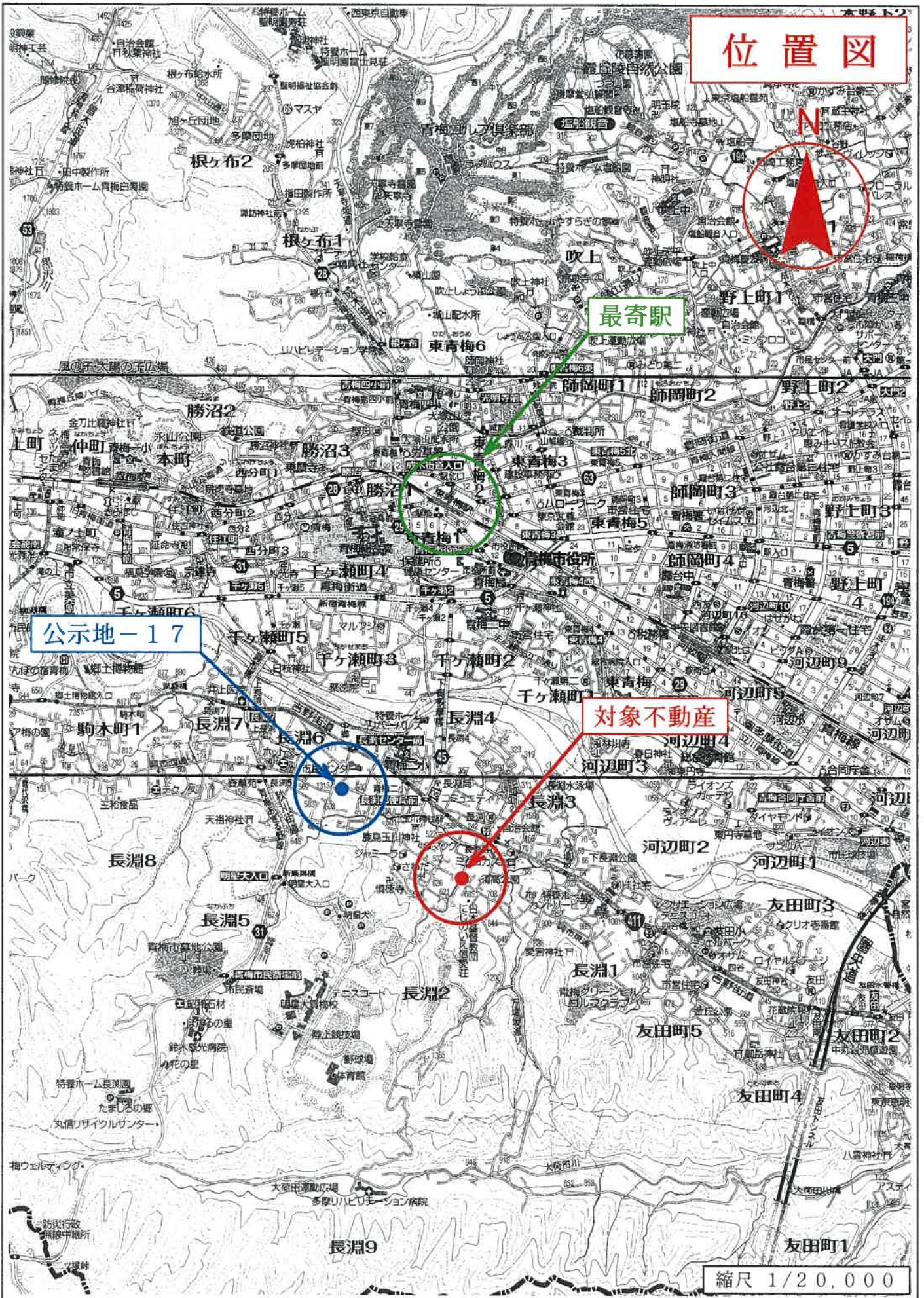
価 格 時 点	令和7年1月1日
所 在 及 び 地 番	青梅市長淵5丁目549番6
1㎡当たりの価格	67,400円/㎡
地 積	109㎡
前 面 道 路 の 状 況	北5.3m市道
供 給 処 理 施 設 の 状 況	水道、下水
交 通 施 設 と の 接 近 状 況	「東青梅」駅 1.9km
法 令 上 の 制 限	1住居(60,150)、準防火
周 辺 の 土 地 の 利 用 状 況	戸建住宅のほかに事業所が見られる住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写

以 上

位置図



縮尺 1/20,000

株式会社昭文社発行「都市地図」より複製

ヲ 687-2
ワ 687-5
カ 721-3
コ 621-19
ク 621-33
レ 723-6

地積測量図写

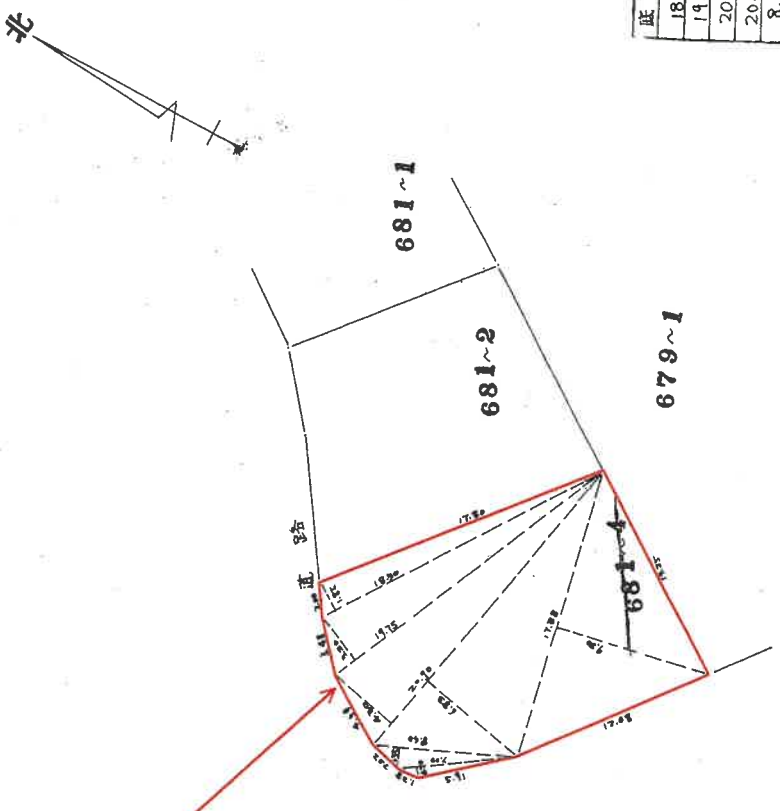
昭和四十六年三月三日

作製年 月 日 昭和 46 年 3 月 2 日	作製者 [Redacted]	申請人 [Redacted]
----------------------------	-------------------	-------------------

地積測量図

地番 ① 681-2, 681-4	土地の所在 東京都青梅市長 2丁目
----------------------	----------------------

物件1土地



辺	長さ	面積
18.50	1.85	34.2250
14.75	3.20	63.2000
20.90	4.30	89.8700
20.90	6.83	142.7470
8.40	1.35	11.3400
7.00	0.70	4.9000
17.38	9.30	161.6340
計		507.9160
1/2		253.9580
		253.9580

163075

546.3.3

(東京土地家屋調査士会 用紙)

縮尺	1/300
----	-------

登記年月日：昭和46年3月3日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
 (東京法務局西多摩支局 管轄)
 令和7年12月24日 東京法務局八王子支局

登記官

A3をA4に縮小

建物図面・各階平面図写

建物図面

各階平面図

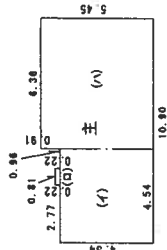
家屋番号 681-4-1
 建物の所在 青梅市最淵二丁目681番地4

各階平面図

1階

求積表

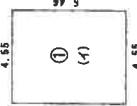
(イ) $4.54 \times 4.54 = 20.6116$
 (ロ) $0.22 \times 0.81 = 0.1782$
 (ハ) $5.45 \times 6.36 = 34.6620$
 計 55.4518
 床面積 55.45 m²



1階

求積表

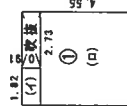
(イ) $5.46 \times 4.55 = 24.8430$
 床面積 24.84 m²



2階

求積表

(イ) $0.91 \times 1.82 = 1.6562$
 (ロ) $4.55 \times 4.55 = 20.7025$
 合計 22.3587
 床面積 22.35 m²



建物図面

符号1 附属建物

物件2 建物

物件1 土地



作成者

縮尺 1/250
 (平成25年5月2日作成)

申請人

縮尺 1/500

登記年月日：令和5年5月10日

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。

(東京法務局西多摩支庁管轄)

令和7年12月24日

東京法務局八王子支局

登記官

請求番号：23-3